



太田川河川事務所

GoGi通信

No. 121

サンフレッチェ広島の千葉選手を迎えて!



「団結がモットー!」 「日事務所長の実施

今年、太田川の改修を始めてからちょうど80年になります。太田川河川事務所では、11月26日に「太田川改修80周年記念行事」の一環として、今シーズンのリーグを制したサンフレッチェ広島の千葉和彦選手を迎えて「日事務所長」を実施いたしました。

当日は公募で参加された約60名の一般の方が見守る中、千葉所長を災害対策本部長とした防災訓練を実施しました。訓練では台風により河川水位が増水しているとの想定の下、千葉所長が職員から被災状況の報告を受けたり、テレビ電話で温井ダム管理所に特別防災操作(ダムからの放流量を減らす操作)の依頼をしたりしました。

訓練を指揮した千葉所長からは「サンフレッチェは「団結」というモットーで優勝したので、「団結」をもとに広島を災害から守ってほしい」という言葉をいただきました。

また、訓練終了後は、記録映画「太田川放水路」の上映を行うとともに、参加者一人ひとりに千葉所長から修了書を手渡していただきました。

今後、多くの方に事務所の業務や、防災活動の重要性を知っていただくために取り組みを行っていきたいと考えております。



南海トラフ地震想定での地震津波対策訓練を実施



▲地震津波対策訓練の様子

中国地方整備局では大規模地震やそれに伴う津波に対して、迅速かつ正確な災害対策業務を遂行することを目的とし、管内一斉に11月20日に地震津波対策訓練を実施しました。太田川河川事務所においては、今年の8月に内閣府中央防災会議から発表された南海トラフ巨大地震での震度や津波の推計規模を訓練に取り入れられました。

訓練は、8時に震度6弱の地震が発生し、その後広島湾に海拔4m程度の津波が到達、堤防の一部が決壊し浸水被害が生じたという設定で実施しました。今回の訓練を活かして実際の災害に備えていきます。



みんなの安全を守ってくれているんですね。

太田川で「水質事故対策訓練」を実施



太田川水質汚濁防止連絡協議会・小瀬川水質保全連絡協議会は、河川等で油流出など水質事故が発生した場合、被害を最小限に食い止めるため関係機関が密接に連携をとり迅速かつ適切な対策を行うことが重要であることから、11月19日に太田川水系根谷川で、水質事故対策訓練を実施しました。訓練では、水質事故対策に携わる、国土交通省、広島県、山口県、広島市、安芸高田市、東広島市、呉市、江田島市、府中町、岩国市、廿日市市、大竹市、安芸太田町、北広島町、和木町、西日本高速道路(株)の約80人が、河川に油が流出した場合を想定した「オイルフェンスの設置・撤去」と、原因物質が不明な場合を想定した「簡易水質調査」を実施し、水質事故発生時に極めて大切となる初動対応・関係機関の連携について確認しました。

特に冬から春にかけて、油の流出事故が多く発生することから、十分なご注意をお願いいたします。



▲簡易水質調査の様子



▲油拡散を防ぐオイルフェンス設置の様子

速報 小瀬川で『河川水辺の国勢調査(魚類)』を実施

河川水辺の国勢調査は、川に住む生物や植物の生息実態を調査し、河川の改修・管理等に活用するための基礎調査として行っており、今年是小瀬川で魚類の調査を実施しました。

太田川河川事務所では弥栄ダムより下流の4地点で調査を実施し、今年度もアユやオヤニラミなど多くの魚種の生息が確認されました。(アユとオヤニラミは過去調査においても確認されています。)



▲アユ

また、小瀬川の水質については「生活環境の保全に関する環境基準(河川)」を満たし、中国地方管内では中位の水質となっております。



▲オヤニラミ

過去の河川水辺の国勢調査の詳細についてはこちら…
<http://mizukoku.nilim.go.jp/ksnkanky/index.html>

水生生物調査を実施

国土交通省では、昭和59年から、小・中学生や高校生を中心に、一般の方々に参加していただき「水生生物による水質の簡易調査」を実施しています。

川の中、特に川底に住んでいる生物を調べることで、その地点の水質の状況がわかります。このように、川の環境を教えてくれる生物を「指標生物」と呼んでいます。川遊び感覚で楽しみながら調査でき、川をより身近に感じ、水質浄化への関心を高められる機会にもなっています。

今年度は7月18日から9月21日にかけて、10団体・約160人に参加をいただき、下図の地点で調査を行いました。調査の結果から、全般的に昨年と同様にきれいな川であることが確認できました。

来年もこの良好な水質が維持できるよう、皆様のご協力のほど、よろしくお願いたします。

調査結果の詳細は、過去の調査結果も含めて太田川河川事務所のホームページで公表しています。

また、今年度から川の環境を教えてください「指標生物」が見直され、新しくなっていますので、あわせて太田川河川事務所ホームページをご覧ください。



▲新川橋付近での水生生物の採取の様子



▲柴木川下流付近での水生生物の採取の様子

水生生物による水質の簡易調査「平成24年度実施結果」

凡例

水系名	調査地点名	調査月日	H23判定 水質階級
河川名	調査団体名等(参加人数)		H24判定 水質階級

水質階級を4階級で判定しています。

- きれいな水
- ややきれいな水
- きたない水
- とてもきたない水



▲太田川(柴木川下流)に住むヘビトンボ(きれいな水の指標生物)



▲太田川(高山川下流)に住むカワゲラ(きれいな水の指標生物)



活用されています！ 堤防刈草の無料提供を実施



▲刈草は中調子高水敷(安佐大橋下流側)において提供されました

今年度も太田川の堤防管理のために行っている除草作業で発生する刈草の無料提供を実施しました。提供期間の10月1日から10月21日にかけて農業や畜産などに利用するため、7件の応募が寄せられ、有効な資源として活用していただき、焼却処分に要する費用を削減することができました。

この取り組み

は平成21年度から行っており、これまでに延べ約60tの刈草が有効活用されました。来年度以降もこの取り組みを継続する予定です。皆様のご応募をお願いいたします。

また、太田川河川事務所では、河川内に生えた樹木の無料提供や、希望者自らに伐採していただき、その樹木を持ち帰っていただく取り組みも行っております。詳しい内容については、太田川河川事務所ホームページにも掲載していく予定です。ぜひ、こちらの取り組みにもご応募いただきますようお願いいたします。



気象予報士会との意見交換会 ～高精度レーダ「XRAIN」～

近年、集中豪雨や局所的な大雨(いわゆるゲリラ豪雨)による水害や土砂災害が増えています。これまでのレーダ雨量計では局所的に降る豪雨を観測することは困難でしたが、従来よりも高精度のレーダ雨量計(XRAIN)を平成23年7月より試験導入したことにより、局所的な大雨を観測できるようになりました。

10月5日は気象予報士会のメンバー8名がXRAINの施設を見学さ



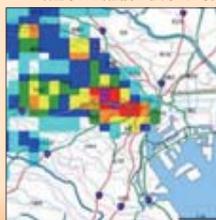
▲意見交換会の様子

れ、その後、XRAINのさらなる活用策等について意見交換を行いました。メンバーからは、「XRAINの情報は精度が高く、スマートフォンなどで簡単に情報を確認できるので非常に役立っている。」といったご意見をいただきました。皆様もぜひご活用ください。

高精度レーダ「XRAIN」の情報についてはこちら…
<http://www.river.go.jp/xbandradar/>

既存レーダ(Cバンドレーダ)

(最小観測面積:1kmメッシュ、観測間隔:5分
観測から配信に要する時間 5~10分)



XRAIN

(最小観測面積:250mメッシュ、観測間隔:1分
観測から配信に要する時間 1~2分)



高頻度(5倍)
高分解能(16倍)

太田川河川事務所では11月22日に「広島西部山系砂防工事安全・施工技術研究会」を開催しました。これは平成8年12月に長野県と新潟県の境に位置する蒲原沢で発生した土石流によって下流の砂防工事現場で働いていた作業員14名が死亡した痛ましい事故を教訓に、工事現場における安全確保や施工技術の向上を目的として毎年開催しているものです。

当日は工事関係者約50人が参加し、安全確保方法に加えて、振動・騒音の低減方法や地元住民の皆様とのコミュニケーションの確保について発表を行いました。この取り組みを活かし太田川河川事務所では今後も工事の安全確保に努めてまいります。



▲研究発表会の様子

安全確保への決意とともに！ 砂防工事安全・施工技術 研究発表会を開催

河川環境を守るためには、一人ひとりの心掛けが大切であり、皆様のご協力をお願いいたします。



▲大量のゴミが回収されました

広島市内水面漁協が 太田川で河川清掃活動を実施

広島市内水面漁協は、今年度2回目となる河川清掃事業として、11月22日に太田川の市内派川で清掃活動を実施し、太田川河川事務所の職員も参加しました。総勢約50名、船20隻によって回収したゴミは、ペットボトルなどの家庭ゴミや自転車などの大型ゴミもありました。

